

令和3年度 第2回燕市食物アレルギー対応委員会 書面開催（記録）

- 開 催：**令和4年2月
- 委 員：**松野委員、伊東委員、村澤委員、青木委員、今井委員、沖田委員、田村委員
落合氏（燕市食物アレルギー対応委員会設置要綱第6条第2項の規定）
- 議 題：**（1）小・中学校における食物アレルギー対応について
（2）幼稚園・保育園・こども園における食物アレルギー対応について
（3）児童クラブにおける食物アレルギー対応について

【以下、記録】

議 題

- （1）小・中学校における食物アレルギー対応について
- ① 食物アレルギー等の発症について
令和3年6月1日から12月31日までの学校における食物アレルギー等の発症について。
（誤食1件、接触が疑われるアレルギー発症事例について1件、ヒヤリハット事例1件、緊急搬送事例2件）
- ② 食物アレルギーをもつ児童生徒の保護者との情報交換会について
6月16日（水）に食物アレルギーをもつ児童生徒の保護者の情報交換の場として、開催しました。
- ③ 食物アレルギー研修会について
7月7日（水）に職員の食物アレルギーに関する知識や技術・技能の向上を図るため、研修会を開催しました。
- ④ 市内小中学校（20校）の学校給食巡回指導の実施について
学校給食に関わる衛生面の確認とあわせ、食物アレルギー対応の方法を確認しました。食物アレルギー対応については、学校給食センターから届いた除去食・代替食の管理方法や、教室で児童生徒が給食を食べるまでの手順を確認しました。
- （2）幼稚園・保育園・こども園における食物アレルギーについて
- ① 食物アレルギー等の発症について
令和3年6月1日から12月31日までの幼稚園・保育園・こども園における食物アレルギー等の発症について。（誤食、緊急搬送はなし）
- ② 食物アレルギー研修会について
7月26日（月）に職員の食物アレルギーに関する知識や技術・技能の向上を図るため、研修会を開催しました。

③ 非常食の食物アレルギー対応について

豪雪により食材の納品が不可能になった場合や自園調理ができなくなった場合に備えて、食物アレルギーに配慮した非常用備蓄食品を備蓄しています。

(3) 児童クラブにおける食物アレルギー対応について

① 食物アレルギー等の発症について

令和3年6月1日から12月31日までの児童クラブにおける食物アレルギー等の発症について。

(接触が疑われるアレルギー発症事例について1件、新規発症事例1件)

② 食物アレルギー研修会について

10月12日(火)に職員の食物アレルギーに関する知識や技術・技能の向上を高めるため、研修会を実施しました。

(4) 委員からの意見、感想等

○委員

麺の汁にアレルギーの原因食材が入っていた場合、該当児童の「お昼ごはん」はどうすればよかったですでしょうか？

○事務局

メニューにかかわらず、アレルゲンが含まれている給食は喫食を止める必要があります。保護者から代替食を持参してもらい、汁以外の給食を十分に盛付ける等の対応が考えられます。

○委員

緊急搬送事例について、いわゆる「運動」だけでなく、「校内を歩いて回る」程度でも、場合によっては発症することがあるのだなど、勉強になりました。

○委員

「本人は口にしていなくても、共有していた台ふきんが原因になり得る」

「加熱した食材ならば食べても大丈夫となっても、症状が出ることもある」

ということも、改めて注意する必要があるなと思いました。

○委員

乳の接触について、アレルギーがあっても給食当番をやりたいという児童の気持ちを尊重していただき、うれしく思います。接触による発症事例についても共通認識をもっていただきありがたいです。